

2015年12月1日

デンカ株式会社

電化電子材料（大連）有限公司、アルシンクを初出荷

電化電子材料(大連)有限公司(略称:DEMD)は、2015年11月30日に「アルシンク」を初出荷しました。

「アルシンク」は当社が開発したアルミと炭化珪素を複合させた金属複合材料(MMC: Metal Matrix Composite)で、高い放熱性を有し、軽量且つ高強度で環境温度の変化に強い特長を持つことから、主に高速鉄道車両モーター用インバーターのパワーモジュールの放熱プレートに使用されています。

安全で輸送力の高く、環境保全の観点でも期待されている高速鉄道は、中国を始め世界各国で数多くの建設計画があり、長期にわたる堅調な成長が見込まれています。当社は、高速鉄道車両の生産集約が進む中国において、大牟田工場に続く第2の拠点として電化電子材料(大連)を設立、2015年8月に生産工場を竣工してこのたびの量産出荷開始となりました。

最初の量産製品は、欧州ユーザー向けに出荷いたしました。続いて中国車両メーカー向けへの出荷も順次開始する予定です。今後は高い品質と信頼性が求められる高速鉄道のパワーモジュールにおいて、需要とニーズに確実に応えながら積極的な事業展開を図ってまいります。



電化電子材料（大連）有限公司



ALSINK

以上